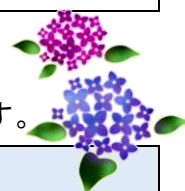




令和6年度の研究主題

子どもが主体的に活動する姿を目指した授業づくり ～一人一人の「できる状況づくり」と各教科等の視点をふまえて～(2年次)

色鮮やかな紫陽花が咲く季節となりました。研究だより第1号を発行します。
研究だよりでは、本校の研究推進に係る取り組みについてお知らせしていきます。
第1号は、今年度の研究主題と、5月28日に行った合同学部研究会について紹介します。



研究主題について

(1)研究主題について

本校は開校以来、「子どもが主体的に活動する姿」を目指して、教育課程の中心である「各教科等を合わせた指導」において授業研究を積み重ねてきました。本校の教育理念としている子どもが「自立的・主体的に活動する」ということは、その子どもがもつ力と個性を最大限に発揮できることととらえています。力と個性を最大限に発揮できることは、今を豊かに生きることであり、今を豊かに生きることの積み重ねは、今の生活だけでなく、将来の生活を豊かにするものと考えます。だからこそ、「子どもが主体的に活動する姿」を大事にする必要があると考えます。

今年度も、小学部・中学部・高等部の教育課程（I課程は除く）に共通して設定されている「生活単元学習」を中心に研究を進めます。本校が大切にしている考え方の共通理解を図り、「各教科等を合わせた指導」の授業づくりについて理解を深めることで「子どもが主体的に活動する姿」を目指した授業を充実させたいと考え、本主題を設定しました。

(2)サブテーマ「できる状況づくり」について

「子どもが主体的に活動する姿」を実現するためには、子どもが「精一杯取り組める状況」と「首尾よく成し遂げられる状況」を教師がつくること、つまり「できる状況づくり」が大切です。よりよい授業実践を継続していくためには、道具や補助具の工夫や場の設定、教師のかかわりなどの「できる状況づくり」についての協議を深め、特別支援教育の専門性を高めていくことが必要であると考えます。

(3)サブテーマ「各教科等の視点」について

知的障害のある子どもの学びの姿から、本校では「各教科等を合わせた指導」を教育課程の中心に据え、具体的・実的な指導を行っています。生活に即した具体的な内容を実際の生活場面の中で主体的に取り組むことで、各教科等の内容を自然な形で学ぶことができると考えています。

「各教科等を合わせた指導」における本校の課題として以下の2つが挙げられます。

①単元を通して「何を学ぶのか」が曖昧である。

②個別の指導計画の「自立活動の指導のねがい」を授業の中で意識したり、適宜見直したりすることが十分ではない。

仮説…

- ・各教科等（自立活動を含む）の視点をもって子ども個人のねがいを整理することで、子どもの姿を多面的にとらえることができ、具体的なねがいや評価につながるのではないかと。
- ・子どもの姿を多面的に見ることで、子どもが主体的に活動するためにはどのような手立て（できる状況づくり）が必要か、見えてくるのではないかと。

そこで…

『授業計画シート（または指導略案）』を使った授業づくりにおいて、『個人のねがいシート』を活用して個別の指導計画の「自立活動の指導のねがい」を確認するとともに、育成を目指す資質・能力と各教科等（自立活動を含む）の視点で個人のねがいを整理することで、「子どもが主体的に活動する姿」を目指した授業づくりに取り組んでいきます。

合同学部研究会を行いました

5月28日に全職員で合同学部研究会を行いました。会の前半は、元本校職員の脇山修先生を講師としてお招きして「子どもたちの主体的な学びを支援する授業づくり」についての講演をしていただきました。特別支援教育のあり方や授業づくりの手順、教師の心得について具体的な例を挙げながらお話いただき、学校教育の中では、子どもが主体者であることや、職員がチームとなって授業づくりをしていくことの大切さを学ぶことができました。

後半の時間は、小中高縦割りグループでグループワークを行いました。マンダラチャート（※）を活用して、グループに割り当てられた単元名（テーマ）から考えられる活動のアイデアを出し合いました。小中高縦割りのグループ編成にしたことで、小中高それぞれの視点からの様々なアイデアを共有することができました。短い時間でしたが、「いろいろなアイデアが出ておもしろかった！」「今後、マンダラチャートを活用したい。」などの声が多くあり、どのグループも充実したワークになったようです。今回の学びを生かして、子どもも職員もわくわくする授業実践をしていきたいと思います。



（※）マンダラチャート…9×9のマス目からなる、目標達成ツール。

目標達成までのプロセスを明確にするためだけでなく、アイデアを生み出すため、課題を解決に導く道筋を可視化するためにも活用されている。

【参考：miro “マンダラチャートとは？”

<https://miro.com/ja/brainstorming/what-is-a-mandala-chart/>】

年間研究計画

<全体>

4/15（月）研究推進委員会①

8/ 5（水）研究推進委員会②

4/25（木）全体研究会①「本校が大切にしている考え方・
主体的に活動する姿について」

12/10（火）中学部公開全体授業研究会
※講師招聘

5/ 2（木）全体研究会②「全校研究主題について」

2/26（水）研究推進委員会③

5/28（火）合同学部研究会「主体的に学びができる授業づくり」
※講師招聘

3/ 7（木）全体研究会③「今年度のまとめ」

<各学部>

学部研究会（月 1～2 回） 学部内授業研究会（年 1～2 回）

第2号は10月頃発行
予定です。お楽しみに♪

